

会社

探訪

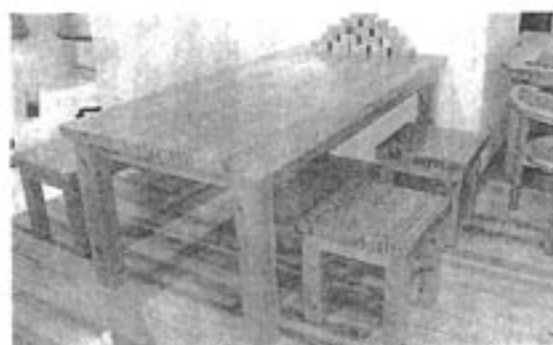
大型木材小売店のマルダイ（静岡県富士市、深沢裕一郎社長）は、超大型倉庫を使った大量在庫・廉価販売という独自の拠点販売方式で知られ、関東・甲信越に3000件以上の顧客を擁する。昨年の創業40周年を機に「価格競争から価値競争へ」をテーマに据え、特に工務店支援事業の充実化を図っている。この一環でいま注目を集めているのが、加工業者等とネットワークを組んでオリジナル家具の製造・供給を進めているマルダイ家具部（鈴木肇部長）・インターネット時代を反映したこだわりの細分化需要に込めている。

家具部は12年前に創設されたセクションの注文対応を主要業務としていたが、徐々にデザイン住宅などのため住宅資材供給の環境として現場の寸法やデザインに合わせたオリジナル家具の製作・供給に力を入れ、現在は牧野工匠、丸京製作所、ワンハンドほか地域加工業者とともに受注対応を進めている。製品は特注の収納家具・キッチン、テーブルなど多種多様。また、このような素材が用いられる建築関係で使われる。マルダイでは窓口と

ネットワークでこだわり需要に徹底対応

マルダイ家具部（静岡）

差別化対策で威力を発揮



プレカット端材のラージ合板と桧材で製造されたオリジナルのテーブルセット

プレカット端材のラージ合板と桧材で製造されたオリジナルのテーブルセット

店との差別化を器、高耐久・高耐水フ

えないか」という加工業者側からの提案も多い。注文については神奈川県湘南地区などからの高級ユーザーの物件が多く、デザイン金具や船舶用の窓など、パーツに合わせた。住設機器や家具の注文も珍しくないという。

また、オリジナル家具の供給には環境事業という側面もある。同社では自社プレカット工場からラージ合板（厚さ24×28mm）の端材が3×6判換算で月間400枚ほど排出されるため、これを再利用してダイニングテーブルなどを製造。先般には大型家具展「シズオカKAGUMETSE2008」に出品して話題を呼んだ。

なお、同展では家具部と協力業者で構成する「シズオカネットワークコミュニティ」グループで「インテリアを構え、環境に優しい素材をベースにしたインテリア関連製品」として、県産杉Jパネルによる家具や再生古紙パネルを使用した什器、高耐久・高耐水フエノール樹脂パネルを使用した家具や建築設備をアピールした。

今後の方針としては、住宅資材の選択において最大の力を持つ最終ユーザーに焦点を合わせ、インターネットを使った情報発信に力を入れていく方針。また製造面についても技術力がある中小業者とのネットワークを強化し、産・学を含めた地域の連携化、すなわち水平型のものづくりを支援していきたいとしている。

エノール樹脂パネルを使用した家具や建築設備をアピールした。

▽マルダイ（家具部）
静岡県富士市大湖2410
1、電話0545・355・3553
5（URL）<http://www.marudai-jf.co.jp>